

【リデュース】（軽量化・薄肉化）

①一本当たりの重量変化

2010年実績として、基準年（2004年）対比で1本当たり1.7%の軽量化がはかられ、目標としていた基準年対比1.5%を達成することが出来た。

1本当たりの単純平均重量は基準年（2004年）の192.3gに対し、2010年実績は180.5gと6.1%（11.8g/本）の軽量化がはかられたが、これにはびん容量構成比の変化が含まれているため、その要素を除いたネットの軽量化率は1.7%（3.3g/本）となった。【表1】

残りの4.4%（8.5g/本）はびん容量構成比の変化によるものである。

なお、基準年（2004年）対比での軽量化による資源節約量は、2006年～2010年（5年間）で、92,237トン（100mlドリンク剤びん換算 7億6864万本）となった。

【表1】 1本当たりの平均重量推移

	2004年 (基準年)	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
本数（千本）	7,262,950	7,158,306	7,049,797	6,846,912	6,653,700	6,771,964
重量（トン）	1,396,582	1,343,925	1,313,830	1,266,242	1,213,075	1,222,525
単純平均重量 (g/本)	192.3	187.7	186.4	184.9	182.3	180.5
ネット軽量化率指標 (加重平均)	100.0	99.0	98.7	98.6	98.2	98.3
軽量化による 資源節約量（トン）	—	13,575	17,305	17,979	22,236	21,142

②軽量化実績

2006年から2010年までに軽量化された主な品目は、11品種128品目となった。【表2】

なお、軽量化実績の捉え方は、前年と同容量で軽量化された品目について限定しており、容量変更が伴う場合や、新製品の軽量びんは対象外としている。

【表2】 2006年から2010年までに軽量化された品目

品 種	のべ品目数
小びんドリンク	小びんドリンク（4品目）
薬びん	細口びん（2品目）、広口びん（1品目）
食料品びん	コーヒー（17品目）、ジャム（6品目）、粉末クリーム（2品目）、食用油（1品目）、蜂蜜（1品目）
調味料びん	たれ（7品目）、酢（9品目）、ソース（2品目）、新みりん（2品目）、つゆ（6品目）、調味料（9品目）、ケッチャップ（1品目）、醤油（1品目）
牛乳びん	牛乳（5品目）
清酒びん	清酒中小びん（14品目）
ビールびん	ビール（2品目）
ウイスキーびん	ウイスキー（4品目）
焼酎びん	焼酎（12品目）
その他洋雑酒びん	ワイン（12品目）
飲料びん	飲料ドリンク（1品目）、飲料・サイダー（4品目）、ジュース（3品目）